

観光統計指標に関する基礎的研究

－兵庫県篠山市を事例に－

関西学院大学大学院 総合政策研究科 岸野 麻衣子
 関西学院大学大学院 総合政策研究科 萬田 剛史
 関西学院大学大学院 総合政策研究科 角野 幸博

1. 研究の背景と目的

現在日本で行われている観光入込客に関する統計は調査、推計方法ともに実施機関である都道府県、市町村に委ねられ、統一基準による推計が確立されていない。観光入込客数の集計ポイント、カウントのしかた、それらを合算する推計方法のそれぞれに問題があるために地域ごとの比較、検討ができない状況にある。そのために一般的な傾向として、集客見込みと実態がかけ離れ効果的な観光政策が難しいと考えられる。観光統計整備に関する多くの研究で統一的な指標の必要性が指摘されており味水の研究では、活用形態を踏まえた統計分類の必要性と、(社)日本観光協会が提示している全国観光統計基準の導入例がわかであること、基準の意義の不明確性、政策実施がどのように結果に結びついたのか定量的評価がなされていない、調査方法の変更コスト、過去の統計データとの整合性を合わせるため作業が遅れることなどの問題点を指摘している。

そこで本研究は兵庫県篠山市を事例に、既存統計方法の問題点を明らかにし、観光入込客数の精緻化に向けた確かな観光政策立案の基礎的資料提示を目的とする。次節では現行調査である「篠山市観光動態調査」の集計、推計方法を検証する。続いて3節では全国観光統計基準との指標の差を分析し、地域特性を加味した指標作成への示唆を得るものとする。さらに4節では観光資源として抽出すべきポイントを、観光情報誌を用いて分析し知見を得ている。

2. 観光動態調査の検討

2-1 集計地点の施設特性分類

現行の観光動態調査では各観光ポイントにファックスで調査票を送付し、月ごとの来場者数(宿泊施設では、宿泊者数と来訪者数)を記入し返送してもらう形式をとっている。現行の分類に従った直近4年間の入込客数及び集計箇所数が表-1である。集計箇所は全79ヶ所(H18年度)であるが、「春日神社(篠山)、波々伯部神社、住吉神社、正覚寺」、「ゴルフ場(篠山地区)」というように複数施設のカウントを合算している場合があるため、実際にデータを収集している観光ポイント91か所であった。またグリーン・ツーリズムとエコ・ツーリズムが分けられているなど、指標として不明確であることが分かった。なお、公営入浴施設の閉館により平成15年度から16年度にかけて温泉の項目が大きく増加している。

表-1 現行分類での入込客数変化と集計箇所

単位:千人

	H15	H16	H17	H18	集計箇所数 (H18)
自然鑑賞	4	4	4	4	3
社寺参拝	28	29	21	20	8
まつり	738	635	640	572	15
遺跡鑑賞	283	252	204	198	3
温泉	195	530	503	424	3
公園・遊園地	140	142	105	115	4
施設見学	169	157	215	272	9
登山・ハイキング ・キャンプ	40	40	32	32	7
ゴルフ・テニス等	581	567	482	620	5
釣り	17	17	13	14	2
観光農園	14	14	10	12	3
その他	411	392	526	460	5
コンベンション	111	142	106	88	2
グリーン・ ツーリズム	200	201	171	171	5
エコ・ツーリズム	18	20	33	47	3
産業博物館	61	55	68	44	2
合計	3010	3197	3133	3093	79

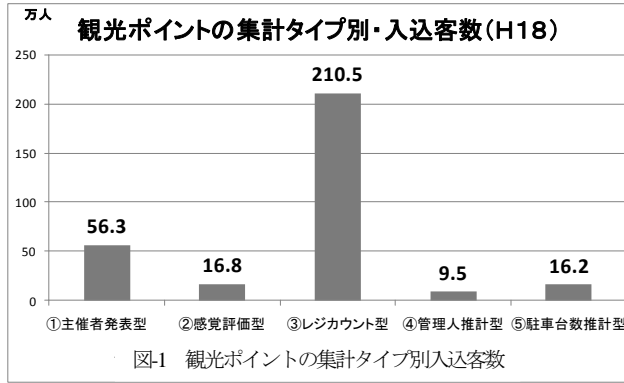
2-2 集計方法・推計方法

現行調査において市が採用している集計方法を、以下の5タイプに分類することができた。

- ① **主催者発表型**—イベントのように短期的なものについて主催者が集計・発表したもの。集計方法にばらつきがあり前年度までの公表値をもとに、主催者が増減の印象を加味して評価した可能性がある。ただし、「ABCマラソン」については、参加登録制のため他のイベントよりは正確であろう。
- ② **感覚評価型**—自然探勝や公園、無住職寺院など自由に訪問・参加できるため集計が非常に困難な施設において、前年度までの公表値をもとにその増減を感覚的に評価、推計しており、もっとも信頼性が乏しい。
- ③ **レジカウント型**—有料施設や店舗など、入館者数や買い物客数をレジカウントで集計したもの。同一人物が同一店で2回購入しても2人が購入したと見なされる(ダブルカウント)ため誤差が生じるが、①②よりは正確である。
- ④ **管理人推計型**—レジカウントではないが寺社仏閣など

の管理者が実態を把握し発表しているもの。実態をほぼ反映出来ていると思われる。

⑤ **駐車台数推計型**—駐車台数をカウントし平均乗車率や回転率を掛けて推計したもの。平均乗車率の設定や回転率、公共交通との分担率の設定によって増減が生じるが、大型商業施設や大規模集客施設でよく採用される方法である。各集計方法別に入込客数を集計し直したのが図-1である。



比較的信憑性の高いレジカウントが入込客数のほとんどを占めている。ただし推計方法に関して、上記のデータは施設間の重複率とレジのダブルカウント率をまったく考慮していない。施設間重複率を算出するための推計方法については、アンケート調査等から明らかにする必要がある。

3. 全国的基準の検討

3-1 集計箇所

(社)日本観光協会が発表している全国観光統計基準(以下、全国基準)では「年間入込客数が5万人以上」あるいは「特定時期の入込客数が月間5以上千人」の施設を対象として、このような大きな集客力を持つ施設を調査することは大まかな動向を掴むのに適している一方、小規模な個人経営を中心とした店舗がすべて除外されることになる。そのため集計場所の選定は篠山市の観光実態を把握するための指標が必要である。なお兵庫県で行う「兵庫県観光客動態実施要領」では、年間総入込数1000人以上の観光地やイベントを選定しているため集計そのものは県の要領に従うことが望ましい。

3-2 特性分類

全国基準では①観光地点入込客延べ人数調査、②宿泊施設宿泊客延べ人数調査、③パラメータ設定用アンケート調査という3段階による観光入込客数の把握を提案している。全国基準で用いられる施設の特性分類に合わせて表-1を再分類したものが表-2である。これにより現行観光集計箇所での、地域間比較に用いることができるようになった。また、小分類番号での欠落項目は該当する施設が挙げられなかったものだが、「12・旧街道」に該当する場所が実際は存在しているようにこの分類に基づいて地域資源を掘り起こすことが可能であるといえる。

表-2 全国基準分類による再分類

大分類	中分類	小分類	集計箇所数	
1) 学ぶ(見る・体験する)	1. 自然	1 山岳	1	
		7 その他特殊地形	2	
	2. 文化・歴史	9 神社・仏閣	16	
		11 町並み	2	
		12 旧街道		
		13 史跡	2	
		14 博物館	5	
		15 美術館	2	
		19 観光農林業	4	
	3. 観光産業	23 その他産業観光施設	6	
	2) 遊ぶ(楽しむ・リフレッシュする)	4. スポーツ・レクリエーション施設	24 ゴルフ場	3
			29 ハイキングコース	7
			30 キャンプ場	2
			34 大規模公園	7
			36 複合的スポーツリゾート施設	1
37 その他スポーツ・レクリエーション施設			7	
38 温泉			3	
5. 温泉	38 温泉	3		
3) 触れ合う(交流する)	6. 買物	41 朝市・市場	3	
		43 行・祭事	12	
	7. 行事・祭	44 郷土芸能	1	
		45 地域風俗	1	
		47 コンベンション	2	
8. イベント	48 その他イベント	2		

4. 既存資源のリストアップ

前節表-2における欠落項目に限らず、現在観光統計が取られている集計されている施設以外にも観光資源として捉えられるポイントがあるのではないかと考え、①観光施設等の情報発信者、②情報を媒介するメディアとして市販されている観光情報誌、③[情報の受け取り手]であり観光客となる情報受信者の3つの視点ⁱⁱⁱでの評価について調査した。

4-1 調査方法

①情報発信者として、個別の観光施設が発行する公式パンフレット、自治体及び県民局等の公的機関が発行する観光案内パンフレットを用いた。次に②メディア情報として、書店で市販されている観光情報誌^{iv}を用いた。さらに③情報受信者が観光施設の評価を発信するものとして、インターネット上の情報に着目した。ユーザーの属性偏りによって、観光施設の特徴や着目ポイントにも影響を与えることが懸念されるが、観光客であるユーザーがプラスの評価をしている場合がほとんどであるため、どのような場所に魅力を感じているのかを知るため参考として用いる事とした。これら3つの視点で捉えた観光ポイントに対し、①②では観光施設の性格によって分類を行い、取り上げられ方を調査した。

4-2 調査結果

(1) 記事数は観光情報誌 130、公的パンフレット 307、計437件、とりあげられた観光ポイントは65ヶ所という結果が得られた。

(2) 記事サイズ別集計

パンフレット等では用紙のサイズが統一されていないため市販観光情報誌のみ、記事の大きさ別にA~Dサイズに分類した。

表3 記事サイズ別 雑誌観光ポイント集計

記事サイズ	記事数
A(単独特集レベル)	10
B(特集ページの一部～見開き 1/4程度)	14
C(見開き 1/8以下)	76
D(インデックス表示、文字のみ)	30
合計	130

A サイズ：特集記事として取り上げられていたのは10件で、飲食・宿泊・体験・買い物といった機能が集約された大型の複合施設が大きく取り上げられているというわけではなく、規模に偏りは見られなかった。

B サイズ：「そば特集」などテーマ設定されたページに多く見られた。食材や環境など店のこだわり、店主の紹介が併せて載せられているものが多かった。

C サイズで掲載されている記事が最も多く、立地場所、業種共に多岐にわたる。

D サイズの情報には宿泊施設が多い。またイベントでは前年度の開催日時のみで、詳細の記載されていないものもあった。

(3) 地域特性

飲食店、特に個人経営の飲食店や、農村風景や町並みなど場所を特定しにくい項目が紹介されていることが特徴的である。丹南地区と篠山地区が多くその中でも特に中心的な市街地である旧城下町付近に集中している。



図2 観光情報誌で挙げられた観光ポイント

篠山地区

観光ポイントの大半が旧城下町にある魚屋町から呉服町にかけての商店街に集中している。飲食店を中心とした食事要素が多く、つづいて史料館や美術館等の見学施設が多い。豆腐屋やパン屋、酒蔵などの食品製造・販売も紹介され、店のこだわりや伝統的商品であることが付加価値として載せられていることが特徴である。

多紀・城東地区

一軒家や単独店舗の業態をとった飲食店、自然レクリエーション施設、子供のレクリエーション施設など数点挙げられたが、いずれもの集落からは離れた山間部に立地している。特に飲食店については自然に囲まれた環境と景観を付加価値として捉えている。これらの施設は全国基準に従えば、集計ポイントの対象外となってしまう可能性が高い。

今田地区

篠山市の西部に位置し、和田寺山を囲むように集落が形成されている地区である。体験施設である陶の郷を中心として、陶芸に関するポイントが多い。多数の窯元が立地している中で、雑誌では数箇所が複数回掲載されている。これらの紹介文では親子に渡って作陶を行っている窯や、ギャラリーを併設している場所が挙げられている。また個別の窯元を紹介する場合には作陶家などが紹介されている。

丹南地区

丹南地区ではほとんどの観光ポイントが篠山口駅周辺に集中している。その多くは飲食店で高速道路 IC と城跡エリアを結ぶ幹線道路に分布している。

西紀地区

篠山市の北部に広がる西紀地区では温泉が2件、宿泊施設と飲食店が数件挙げられるにとどまっている。その理由としては地形的にも篠山エリアから遠くアクセスが容易でないことが要因と考えられる。

(4) 雑誌のみに記載されるポイント

雑誌で1以上の掲載があり且つパンフレットでの記載がない観光ポイントを分類したものを以下に示す。食品を扱う商店、町並み、イベントが記載されている。全国的に有名な祭り以外はほとんどのイベント情報が雑誌では欠落している。

表4 雑誌のみポイントの特性別分類

1. 食品を扱う商店	10
2. 飲食店	9
3. まちなみ、自然、見学可能な住宅	11
4. 工房等の体験施設	4
5. 美術館などの公的施設	5
6. 宿泊施設	1
7. 寺社仏閣や古墳	6
8. 農園	3
9. 祭り・イベント	11
10. 公園	5

(5) パンフレットのみに記載されるポイント

一般雑誌に掲載されていないが、公的パンフレットで記載されている情報は寺院や宿泊施設、見学施設、由緒ある大木といったポイントが多数掲載されている。また四季の森会館など公共施設が多く挙げられていることが判明した。また、小規模なイベントや寺社仏閣なども拾い上げられている。しかし、雑誌では3件取り上げられているがパンフレット等の公的な観光情報案内には記載されていない店舗があるなど、重要な要素である食事に関しては一般誌の方が詳細な情報を発信しており公式パンフレットでの情報不足という問題を挙げる事ができた。

(6) 動画検索結果

観光客となる消費者、ユーザー視点での観光地評価の参考として Web 上の情報を使用した。動画投稿サイトとして

広く利用されている Youtube、様々な動画サイトのデータから検索が可能な GoogleVideo、会員性のサイトであるため個人的な活動の記録や場所、人の特定されやすい mixi 動画を調査対象とした。

表5 動画検索結果の分類

検索結果	GoogleVideo	Mixi 動画
有名観光施設	5	7
風景	11	6
伝統芸能	2	2
イベント(ライブ、祭など)	12	18
商店紹介	2	0
そのほか	16	5
合計	48	38

GoogleVideo で「篠山」「sasayama Japan」という検索結果のうち篠山市に関連する動画は27件であった。「風景」ではJR電車から見える風景を撮影したもの、車から見える景色を撮影したもの、ツーリング中のバイクで撮影したものをカウントした。そのほとんどは有名な観光スポットではなく開けた土地に田んぼが広がり山に囲まれた田園風景、集落を通り過ぎる風景であった。篠山城跡や二階町商店街といった主要スポットが少なく、篠山楽空間、篠山節などの市民発表の場が多く撮影されていた。これは発表者の知人等が撮影したものであると考えられ、観光ポイントではなく参加型のイベントが一定の評価を得ていると考えられる。他方、恐竜化石に関する動画が「丹波篠山」として認識されており、地域イメージの滲み出しが窺われる。Mixi 動画で「篠山」をキーワードとして検索しヒットした58件のうち篠山に関係のある動画38件について、焼き物体験やゴルフなど個人体験が載せられているほか、雑誌ポイントでは挙げられなかった観光ポイントも挙げられている。その他風景には桜並木やウグイスの動画などがあり、何気ない風景が評価されているといえる。ユーザーの評価する篠山の要素として「風景」「景観」「イベント」といったキーワードを挙げるができる。特に海外からの投稿や、ツーリングメンバーの撮影する風景などが多く、パンフレット、雑誌で「景観ポイント」と紹介される場所とは大きく異なっていた。

5. まとめ

5-1 統計指標

現行動態調査の検証によってその問題点を明らかにできた。そして全国基準に準拠した再分類を行うことで他地域との比較可能なデータを作成することができた。また副次的な成果として、観光資源の拾いだしに有効であるということが判明した。さらに集計方法の分類を5つのタイプに分けることができた。そのうちの大半を占めるレジカウント型に関しては、施設間重複率の算出が必要であることが明らかになった。そのためには周遊行動の把握が可能なアンケート設計が有効であろう。

5-2 観光ポイントの選定

観光情報誌の比較から、公的パンフレットでは飲食店等の情報が少なく大型公共施設、地域のイベントや祭の記載が多いこと、市内全域の施設が取り上げられていることが分かった。市販雑誌では、食品販売ではなく飲食に重点をおく店舗の情報が大半を占め、城跡周辺に集中していた。それらに対して、Web 情報では「何気ない風景」が評価されていた。中でも交通網や立地条件から、自家用車での来訪が多く、他ポイントとの周遊性は低いと考えられる観光ポイントが複数存在していた。これらのポイントでは一つの店舗を訪問の目的とする「ワンテーマ型観光」や「通い型観光」のような観光のタイプを想定できるだろう。これら観光ポイントは入込客の推計に際しては大きな影響力を持たないが、集計ポイントとして加味することは、地域の実情に沿った観光統計の実施と多様な観光の形態を政策上把握するために必要である。

5-3 今後の可能性と課題

集計箇所の精緻化のため、複数店舗を一括してまとめない、集計ポイントの選定として兵庫県観光客動態実施要領に準拠するものとする。

過去の統計との整合性や連続性をはかるためには、当面は新旧両方の調査手法を採用し、数年後に補正係数のようなものを設定して過去のデータを補正することも検討する必要がある。

謝辞

本稿執筆にあたっては、丹波篠山観光協会及び篠山市役所観光まちづくりプロジェクトチームをはじめ多くの方々にご協力、ご意見をいただいた。ここに記して感謝の意を表する。

ⁱ 味木佑毅 (2006) 「観光統計の整備における「活用の視点」の重要性」、国際交通安全会誌、Vol.31 (No.3) pp.236-245、国際交通安全学会

ⁱⁱ こんだ薬師温泉ぬくもりの郷 2004年2月1日オープン

ⁱⁱⁱ 千 相哲 (2006) 「観光統計の標準化・統一化：九州の連携力を高めるために」、九州産業大学商経論叢、Vol.47(No.1) pp. 53-66、九州産業大学

^v こんだ薬師温泉ぬくもりの郷/兵庫の旅ナビ ひょうごで遊ぶ丹波杜氏酒造記念館/丹波篠山ハイマート/佐伸篠山市立篠山市民センター/案内/白髪岳・松尾山登山ガイドマップ/丹波路ツーリズム/ぶらり丹波路ハイキングマップ1~8/清水・東条湖・立杭観光連盟観光マップ/清水・東条湖・立杭観光連盟観光マップ/お菓子の里 丹波ぶらり丹波路 /ささやまの森公園 だより/ゆっくり・ゆったり/丹波のスロツーリズム/四つの歴史館めぐり/やすらぎの城下町ささやま/丹波の森ガイドマップ/H18年度ハートピア農園利用実績集計表/ささやまさんぽ/H18年度 滞在型農園利用実績集計表/小京都と京都ゆかりのまち〜「味」〜/施設の利用実績 丹波旬の市/篠山市今田地域/周辺交通のご案内/施設の利用実績 篠山市地域活性化センター 黒豆の館/城下町 篠山の町並み/県立自然公園 多紀連山

^{vi} るるぶ兵庫神戸姫路但馬'08/まっぶるマガジン家族でおでかけ泊二日 関西・中部'08/まっぶるマガジン家族でおでかけ日帰り京阪神'08/るるぶ清報日帰りおでかけ'07 関西/まっぶる家族でおでかけ緑と遊ぼう関西 2008/まっぶるマガジン神戸・姫路・但馬・篠山・淡路島'07-'08/るるぶ 天橋立城崎北近畿 '08/全国キャンピングガイド'08 昭文社